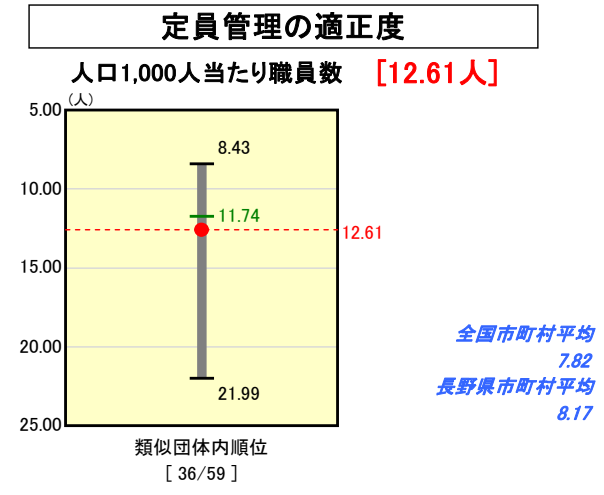
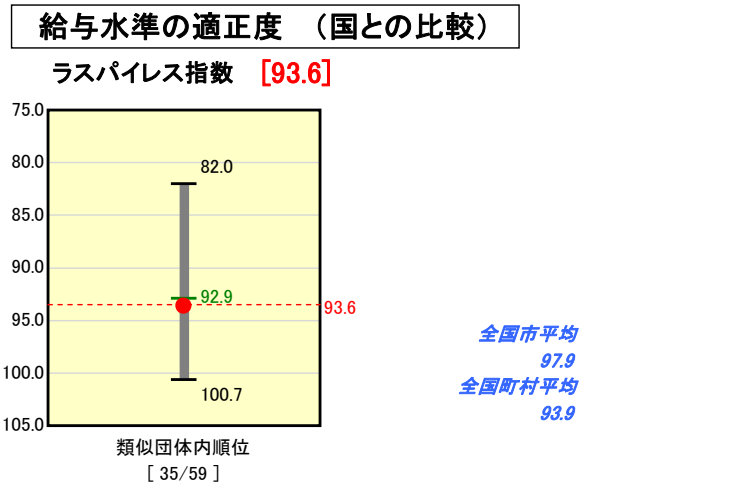
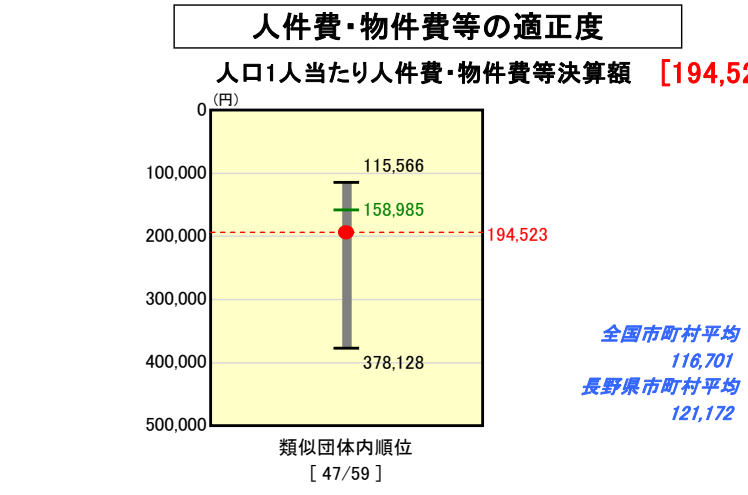
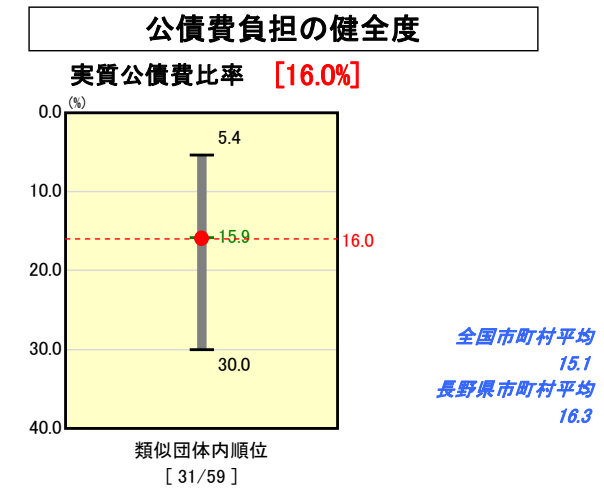
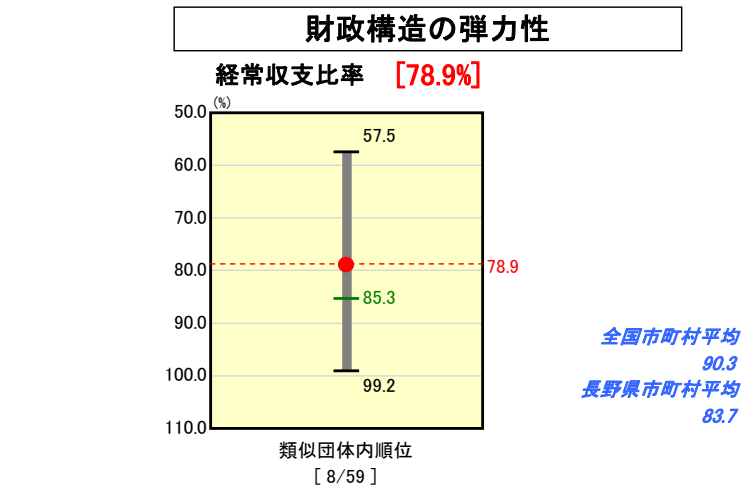
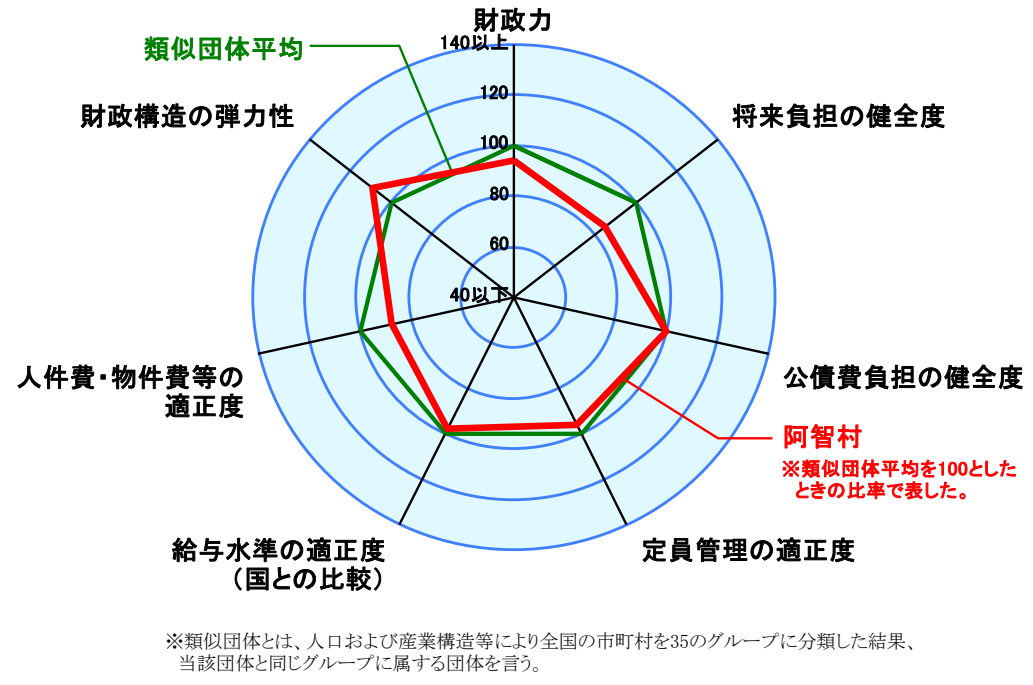
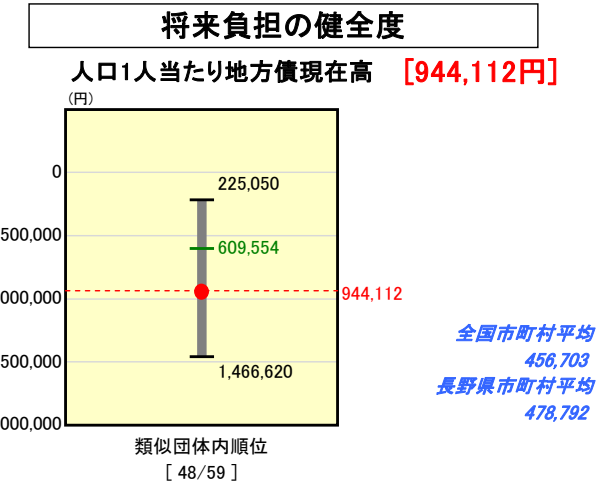
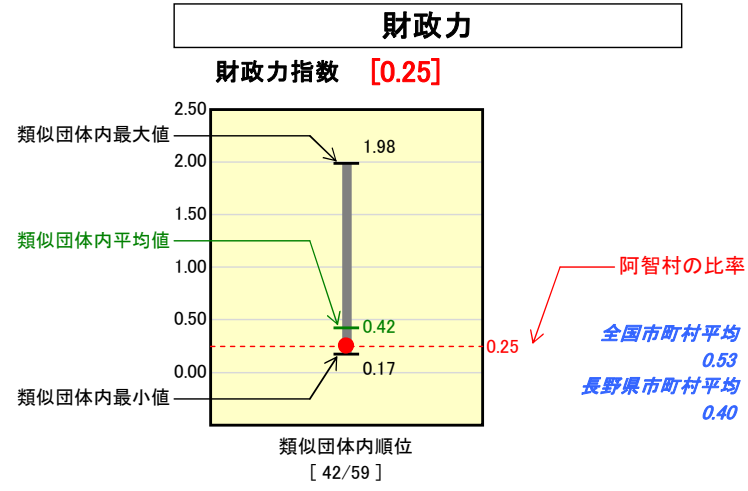


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 長野県 阿智村

|      |           |                 |
|------|-----------|-----------------|
| 人口   | 6,502人    | (H19.3.31現在)    |
| 面積   | 170.31    | km <sup>2</sup> |
| 歳入総額 | 5,695,387 | 千円              |
| 歳出総額 | 5,279,687 | 千円              |
| 実質収支 | 117,935   | 千円              |



### 分析欄

**財政力指数:** 県内平均値を下回っている。ここ数年若干数値が上昇しているものの、数値は県内平均の4割に満たない点からも依然として依存財源に頼っている予算構造であることになる。今後は企業誘致等積極的に行い税収のアップを図るとともに徴収事務の強化などの取り組みにより自主財源の確保に努め、数値の向上を目指す必要がある。

**経常収支比率:** 県平均値を上回っており、類似団体内では上位に位置している。今後、中学校建設などに伴う公債費や少子高齢化による扶助費の増加が見込まれ、さらに交付税や臨時財政対策債等の経常一般財源が減少することを考慮し、引き続き人件費をはじめ更なる経費節減を行い、一般的な適正数値(70%)に少しでも近づけるよう努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 県平均値、全国平均値を上回ってしまっている。合併により人件費や物件費が上昇しているが、今後合併効果も現れ数値も減少してくることが予想される。引き続き経費節減に努力していく。

**給与水準の適正度:** 類似団体内では若干平均値より高い数値になっているが、全国町村平均値とはほぼ同数値である。数値自体は国との比較では大きく下回っており、今後も職務、職責、成果等により適正な運用が求められる。

**人口1人当たり地方債現在高:** 類似団体、県内、国の市町村平均を大きく上回っている。小規模村同士の合併により数値は大きくなっており、将来への負担が危惧されるが、ここ数年の間に行なった起債繰上償還など今後も継続し、起債の新規発行抑制を行い、後世への負担が過度にならないようにする。

**実質公債費比率:** 類似団体、県内市町村平均値とほぼ同数値になっている。今後合併特例債の元金償還が始まる21年度以降、数値の上昇が見込まれるが、起債事業の取捨選択を行い新規発行の抑制に努め、また、政府資金免除繰上償還を始めとする繰上償還を積極的に実施し後年度の負担適正化に努めることで、実質公債費比率は18%以内を目指す。

**人口1,000人当たり職員数:** 類似団平均を若干上回り、県、国の平均も大きく上回っている。合併により職員数が増加したことが要因と考えられるが定員適正化計画に基づき、正規職員の削減や努臨時職員の活用にも努めており、数値は今後下がっていくことが予測される。